

本書の特色

この本は、中学2年生の冬休みまでの学習内容を中心に構成されたテキストです。

各課とも、最初の2ページのポイントと例題で重要な内容を押さえ、次の2ページの演習問題で実力を定着させる…という流れになっています。また、語句も読解問題と並行して学習できます。一課に一枚の別冊確認テストがついています。各課の理解度チェックに役立ててください。講習準備テストを使用することで、講習を受ける前の実力をチェックすることができます。最後には、総合確認テストで学習の成果を確認しましょう。

本書の使い方

- **ポイント・例題**……その課で学習する内容と基本的な問題を取りあげています。
- **演習問題**……ポイント・例題で学習した内容をもう一度確かめるための演習問題です。「思考力問題」には◎をつけています。
- **語句問題**……読解問題が一課終わったら、語句問題も一回分取り組むようにします。
- **総合問題**……本書の総まとめの問題になっています。

もくじ

国語中2

1	説明的文章(1)	2
2	説明的文章(2)	6
3	小説文	10
4	随筆文	14
5	古典	18
6	詩歌	22
7	情報・作文	26
8	文法	30
《語句問題》		
1	熟語の構成	34
2	類義語・対義語	34
3	語句の意味(1)	35
4	語句の意味(2)	35
5	慣用句	36
6	ことわざ・故事成語	36
7	同音異義語・同訓異字	37
8	四字熟語	37
	総合問題	38

ポイント

1 さまざまな資料の読み取り

(1) スピーチ原稿

テーマ（話題や主張）や構成（導入・本論・まとめ）に注意して、伝えたいことを読み取る。

(2) ポスター

キャッチフレーズ、イラスト、写真などから伝えたいことを読み取る。

(3) 新聞

見出し・本文など構成を押さえ、事実か意見を区別して読み取る。

(4) 図表・グラフ

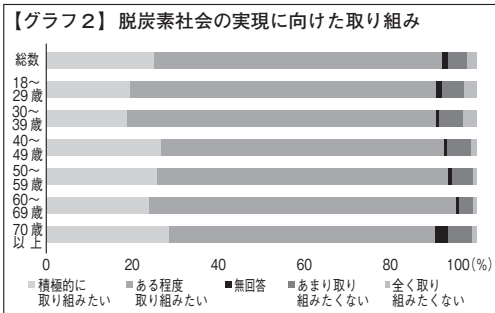
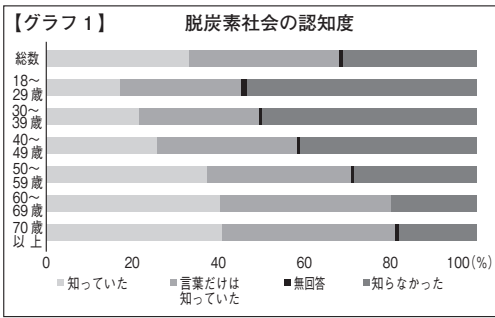
数値を確認したうえで、タイトルや調査対象、調査時期を押さえる。

(5) その他の実用文（報告書・説明書・契約書・案内など実用的な文章）

誰にどのようなことを伝える文であるか、正確に読み取る。

2 複数の資料の活用のポイント

例



内閣府 令和2年度 気候変動に関する世論調査 より作成
 (グラフ1は資料を調査対象者に読んでもらってから質問)

(1) 文章（レポート・メモ）と表（グラフ）をあわせて考える

文章（レポート・メモ）には表（グラフ）のどの点に注目しているか、表をどのように見るかが書かれている。文章には、表だけではわからない情報が書かれていることもあるので、自分の考えをまとめる参考にすることもできる。

(2) 複数の表（グラフ）をあわせて考える

共通点や相違点の比較、最も大きい数値や小さい数値への注目などから見えてくるものを考える。

問：「【グラフ1】」「【グラフ2】」から読み取れる内容をまとめなさい。

答：① 脱炭素社会についての認知度には年代によって差があるが、脱炭素社会実現に向けて取り組みたい気持ちは年代に関係なく多くの人が持っている。

3 作文

● 聞かれたこと（設問）を正しく読み、指示や条件に従う。

● 制限字数・文末表現（「～から」「～こと」「～気持ち。」など）

● 原稿用紙の使い方を守る。

● 書き出し、改行は一字下げ。一マス一字・一符号が原則。

● 文体の統一。常体（だ・である）調と敬体（です・ます）調。

● 主語と述語、呼応の副詞を正しく対応させる。

● 効果的な論旨の展開を心がける。

● 頭括型（結論→理由や根拠）・尾括型（詳しい本論→結論）

● 双括型（結論→根拠となる事柄→結論）

次は、山本さんのグループが学習発表会で環境に関する発表を行うため、資料を見ながら話し合いをしてしている様子です。【資料1】・【資料2】と【話し合い】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料1】消費者として「環境に配慮した商品やサービスを選択する」ことを心掛けているか（単位：％）

	心掛けている	どちらとも言えない	心掛けていない	無回答
平成28年	48.1	35.2	16.4	0.4
令和元年	56.9	29.6	12.4	1.0

【資料2】日頃の買い物で意識していること（単位：％）

	意識している（計）			意識していない（計）		
	かなり意識している	ある程度意識している	どちらとも言えない	あまり意識していない	ほとんど・全く意識していない	無回答
環境に配慮されたマークのある食品・商品を選ぶ	8.1	35.9	27.8	21.6	5.7	0.9
容器や包装の少ないものを選ぶ	6.6	29.1	33.8	22.6	6.7	1.2
弁当・総菜などを購入するときに不要なフォーク・スプーンをもらわない	27.2	36.3	17.0	13.3	5.2	1.0
ごみを減らし、再利用やリサイクルを行う	19.3	44.1	20.1	11.6	3.9	1.0
リサイクル素材でできた商品（再生紙など）を選ぶ	7.5	24.9	34.2	23.3	9.0	1.0

（消費者庁「令和元年 消費者意識基本調査」より作成）

【話し合い】

（山本）今日は、買い物のような消費行動の中で環境問題にどう取り組んでいくべきかについて話し合います。まず、【資料1】をもとに、人々の意識がどう変化しているかを、考えます。

（内田）【資料1】は、消費者として環境に配慮した商品やサービスを選択することを心掛けているかの意識の変化を表しています。これを見ると、令和元年は、平成28年と比較すると、Aといえます。

（白井）また、令和元年には、「心掛けている」の割合は、B％で、半数を超えています。

（山本）つまり、【資料1】からは、最近になるほど環境への影響を考えて買い物などをしてしている人が多いことがわかりますね。では、具体的には日頃の買い物で、どういう意識を持っているのでしょうか。【資料2】から考えていきましょう。

（野村）それぞれの項目について、「意識している（計）」の数値を確かめていきましょう。「意識している（計）」の数値が最も大きい項目は、「弁当・総菜などを購入するときに不要なフォーク・スプーンをもらわない」で、その数値は、C％です。また、次に数値が高いのは、「ごみを減らし、再利用やリサイクルを行う」で、こちらも半数以上の数値となっています。ここから考えると、リサイクル商品を購入する人が多いのではないかと思います。

（小川）野村さんの意見には疑問があります。【資料2】を見ると、私は、リサイクル商品の購入を意識している人が多いとは思いません。ごみをリサイクルすることを意識する人は多い一方で、リサイクル商品を購入しようという人はあまり多くないと思います。

（白井）「環境に配慮されたマークのある食品・商品を選ぶ」や「容器や包装の少ないものを選ぶ」も「意識している（計）」の数値は半数以下となっていますね。「意識していない（計）」の数値よりは大きくなっていますが、意識している人が非常に多いとはいえない状況です。小川さんの指摘した項目と合わせて考えると、商品を選ぶときにしっかりと意識して購入する人はやや少ないといえそうです。

(山本) 【資料2】からは、商品の購入に関して意識が行き届いていない点がわかるということですね。では、ここまで出た意見をもとに、消費者として環境に配慮した選択をすることを心掛けているかどうかの意識の変化や、日頃の買い物での意識について、【資料1】と【資料2】からわかることをまとめると、**D**といえます。

□(1) 【話し合い】の**A**にあてはまる最も適切な言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 消費者として環境に配慮した行動を心掛けている人の割合はほぼ変化がないが、心掛けていない人は減っている
- イ 消費者として環境に配慮した行動を心掛けている人はやや増えており、どちらとも言えない人や心掛けていない人は減っている
- ウ 消費者として環境に配慮した行動を心掛けている人は約一・五倍に増えており、心掛けていない人は大幅に減っている
- エ 消費者として環境に配慮した行動を心掛けている人はやや減り、どちらとも言えない人が増え、心掛けていない人の割合は変化がない

□(2) **B**・**C**にあてはまる数値をそれぞれ算用数字で書きなさい。

[] []

漢字のトレーニング

- | | | | |
|--------------|-----|-----------------|-----|
| □① 拙い文章を認める。 | [] | □⑥ カイリツを重んじる宗教。 | [] |
| □② 淡い恋心を抱く。 | [] | □⑦ バクゼンとした考え。 | [] |
| □③ トマトの栽培。 | [] | □⑧ 表舞台でカツヤクする。 | [] |
| □④ 水に浸す。 | [] | □⑨ スグれた人材を集める。 | [] |
| □⑤ 経済財政諮問会議。 | [] | □⑩ カエルをカイボウする。 | [] |
| | [] | □⑪ ライメイが響き渡る。 | [] |
| | [] | □⑫ やかんで湯をワカす。 | [] |
| | [] | □⑬ 畳の上でケイコする。 | [] |
| | [] | □⑭ セントの歴史をたどる。 | [] |
| | [] | □⑮ アンショウに乗り上げる。 | [] |

□(3) —線部「私は、リサイクル商品の購入を意識している人が多いとはいえないと思います」とありますが、小川さんがこのように述べる根拠はどのようなことですか。【資料2】の内容に触れて書きなさい。

[B] [C]

□(4) **D**には、【話し合い】で出た意見をもとに、【資料1】と【資料2】からわかったことをまとめた内容があります。【話し合い】の文章中の言葉を使って、六十字以内で書きなさい。
